

行政評価シート(令和2年度実施事業)

NO. 47

(1) 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	事始め奨励事業				財務会計上の事業名	事始め奨励事業／委員報酬事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	8	1	2	担当部署名	商工労働課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			総合計画における施策を「章」、「節(施策)」、「項目」に分けて記載しています。	
	節(施策)	第8節工業の振興				
	項目	項目1 創業の支援				

(2) 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和	元	年度	～	令和	4	年度
事業内容	池田市名誉市民である安藤百福氏の寄付を基に、新技術・新製品の開発などにより産業振興に貢献する市民を顕彰するとともに、奨励金として賞金を授与する。						
めざす姿(目標)	事始め奨励大賞の応募者数及び受賞者数の増加を図ることで、新技術・新製品の開発などの事始めを促進する。						
事業の対象(誰を、何を)	市内中小企業者及び創業予定者						
事業の手段・方法(どのように)	事始め奨励大賞審査会を開催し、受賞者を顕彰し賞金を授与			事業の目的とそのためのプロセスを記載することで、その事業の意義を確認しています。			
実施形態(直営/委託)	直営						
関連計画							

(3) 事業費等

(4) 成果の達成状況、有効性・効率性評価

区分	R元年度	R2年度	R3年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R2年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	80	1,119	1,706	応募者数		2人/年	6人/年	5人/年
主な内訳	賞賜金	50	1,100	1,600	受賞者数			1人/年
	消耗品費	6	11	12	第3期実施計画策定時に各担当課が設定した指標と目標値とともに、令和2年度の実績を記載しています。(成果目標が設けられていない事業に関しては成果指標を記載しています。)			
	委員報酬	25	8	94				
	事業費とその財源内訳を記載するとともに、一般財源比率と受益者負担率を記載しています。							
財源	地方債				成果の達成状況	A.順調に推移している		
	その他(事始め奨励基金繰入金)	50	1,100	1,600	上記「達成状況」選択の理由	複数の応募者があり、かつ、大賞・特別賞の受賞者が出たため。		
	うち受益者負担 B				有効性・効率性評価	目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)	
	一般財源 C	30	19	106		事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)	
	一般財源比率 C÷A	37.5%	1.7%	6.2%	上記「有効性・効率性」選択の理由	受賞者からも、市場から反響を得るとの感想があり、新技術・新製品の研究開発等創業支援には有効的なため。		
受益者負担率 B÷A								

(5) 事業の現況と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>本事業は平成14年から実施。本市でインスタントラーメンを発明した安藤百福氏からの寄付金を原資に実施している。募集対象が「画期的な開発」なため、毎年開催してもなかなか対象の応募者が集まらず、集まったとしても質について問題があり近年受賞者の決定に至らないことが続いたが、令和2年度は18年ぶりに大賞受賞者が選定された。基金の残額が減少しており、今後、奨励金原資の枯渇が懸念事項。</p>	
<p>事業実施にかかる現況と課題に基づき、令和4年度以降の事業の方向性について記載しています。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和4年度以降)の事業の方向性
事業継続にあたっては原資となる資金確保策の検討が課題。	<p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 基金の残額を活用し、継続して実施していく。新技術・新製品の開発などを顕彰し、PRを行うことにより、その企業の成長を促し、間接的にはあるが、本市産業振興に資すると考える。今後も事業を継続していくなかで、賞に値する製品の掘り起こしも進めていく。</p>